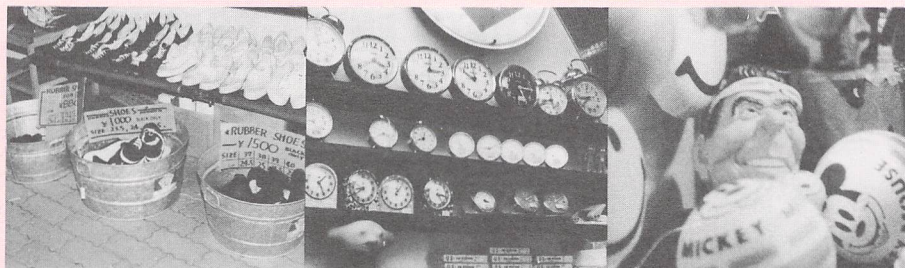




THE TACTILE SENSE.

FOR MEN

アメリカナイズドではなく、 こりやもうすっかりアメリカだ!/?



俗に繁華街といわれる界限を、北に抜けた寺町二条。趣きある老舗が建ち並ぶ中、普通の家をペイントした雑貨屋さんが商いしている。

このお店「ランビー・グレイビー」は、昨年9月19日OPEN。店内は、まるでアメリカの日用雑貨屋さん。所狭しとたくさんのグッズが顔を並べている。スマイル・ガンビーなどの超人気キャラクターや、流行のタータンチェック帽、ステーションナリー。商品は、店長がOPEN前にアメリカで、ドッサリ買ってきたもの。今でも年に3回はアメリカへ。BGMもゴキゲンで、ロス直送のFM収録テープがかかっている。市役所も近いせいか、客層は20代前半~30代前半とちょっと高い。

理屈はともかく、楽しげりやいい、っていう店長さんの思惑通り、ホントに楽しいお店である。

ランビー・グレイビー
☎11:00AM~10:00PM(月~金曜)
11:00AM~ 0:00AM(土曜)
0:00PM~10:00PM(日曜)
無休 中京区寺町二条東北角

値打ちのある居酒屋、 西賀茂に発見。

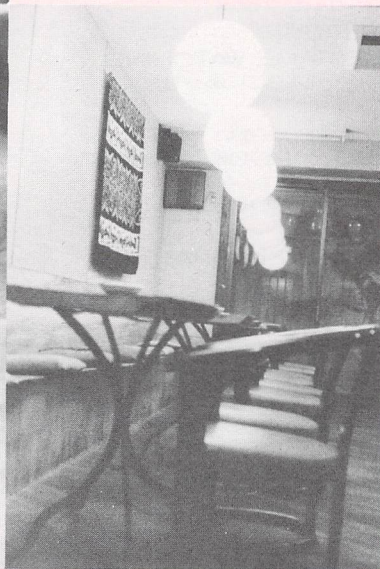
北山界限はいわゆるいい店が多い。オーセンティック風なBARしかり、ブティックしかり。京都の内装屋の半分以上はこのあたりの店で生計を…でもないか。そんな北山界限であるが、30まへの男が喜べる居酒屋がなぜなかった。チェーン店タイプの居酒屋はあるけれど、チョットね、そんな我々を満足させてくれる居酒屋を発見した。

その名も「ちょっと小粋な居酒屋・ひょうたん」。御園橋を少し西へ入った所のビルの地下にあるこの店はなかなか目立たない。店内も極めてシンプルでマーケティングを感じさせないインテリアがウレシイ。山が好きな店主自らがみつけて、切り倒したという椎の木で作ったカウンター(7m)は必見の価値がある。イスやテーブルも店主の友人のクラフト作家の作品であったりして、シンプルなインテリアの中にもこだわりが影を潜めている。

そして、料理。イトヨリの煮付¥550、馬の胃¥450、このわた¥500、ゆかり御飯¥200、炭火焼、刺身、煮物などそのメニューはたまらない。もちろんメニューは毎日書かれる。ビール¥500、トミオー純米酒、電気ブラン。安い。

値打ちのある居酒屋だ。それでいて店に気が取れない、値打ちをつけた風がない。したがって、酒ゲル系数(家計全体に対して酒代の占める割合)の高い、編集部がおすすめするのだから、まあ、間違いはない。

ひょうたん
☎6:00PM~2:00AM 水休 京都市北区上賀茂御園橋西100m シャイニングヒロビルBF



AS IF THE SOUND IS COMING OUT

STUDIO SCALE
W8×D11×H5(M)

JCREW

CREATIVE PHOTO STUDIO

32-1 Isigatubo-cho Saga U-Kyoku Kyoto-shi 616
OFFICE 075-862-1481 STUDIO 075-881-9709
FAX 075-861-8671



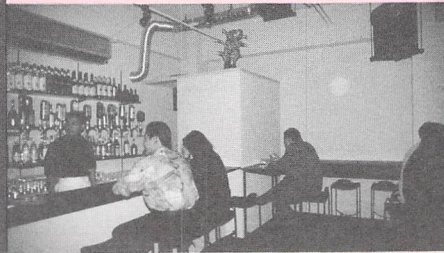
ピカバーは象徴する。バーの原点。



京都でもショットバーが急増した近頃、どの店も一風変わった雰囲気求めて、あれこれ工夫しているが、このピカバー、BGMがカリブソ、ボサノバなどを中心にする以外、何の変哲もないバーなのだ。しかし、これがまた新鮮、ごちゃごちゃ何かに拘ってる店なんかより気軽に、安心して飲めるのだ。それにお客さん同志のコミュニケーションも手伝って、アットホームな感じが、更に居心地良くさせる。会社でイヤなことがあったって、ここではそんなこと関係ないのだ。誰もが目一杯楽しめるピカバー。高瀬川のほとり、木屋町を歩く人を見下ろしながら、騒いでみるのも悪くない。

Picca bar

●営6:00PM~4:00AM 無休 京都市中京区
 木屋町三条下ル辻田ビル2F



THE TACTILE SENSE.

FOR WOMEN

NEO-KYOTOを予感する店。

室町通二条を少し下がった西側。NABRAD京都がある。江戸時代の町家(商家)そのままのつくりで、中は天板を外して天井を高くしたりして、なかなか情緒たっぷりの遊空間。

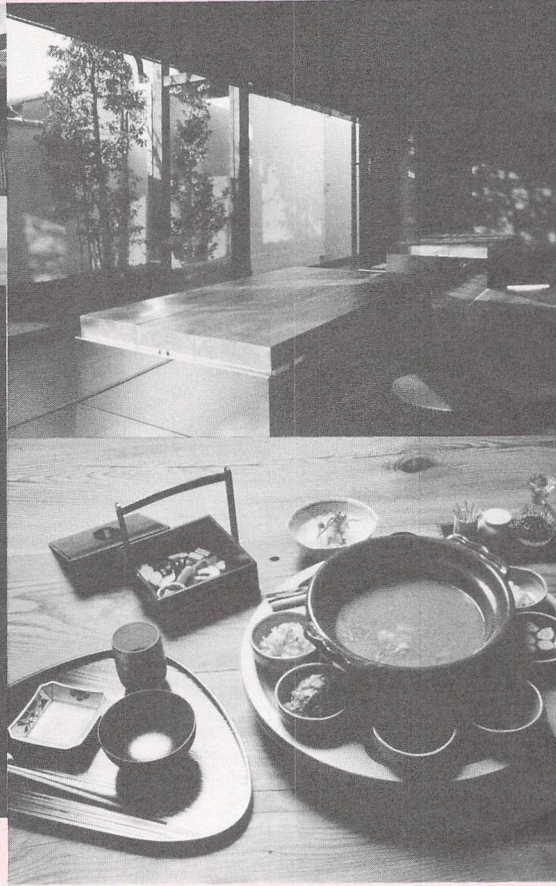
そして、その奥、同じつくりの空間で、食をオファーしているのが、NAB堺萬。すぐ近くに店を構える鰻料理の老舗「堺萬」が、肩肘張らないで、もっと気軽に懐石や幕の内を食べてもらおうと、昨年12月10日にオープンさせた。

そこには洗練された旧さがある。門~入口に至る中庭の足元には、以前、市電に使われていた敷石が敷いてあり、柱も元録13年のものがそのまま使っている。柱には、大工の名前まで入っていて、立派なインテリアになっている。入口にある「おくどさん」は、使おうと思えばすぐにでも使えるという。京都の街並が好きで「この風情をいつまでも、そして現代のニーズにあったものに」と日頃考えてらっしゃる御主人。「ここから、そういう動きが起こってほしいですね」なんて望みも持ってもらえる。

昔で秘かなブームの「赤米雑炊」は1,200円、膳や幕の内は3,000円ぐらいの予算でOK! 喫茶にもなっているので、一度、お茶を飲みにも行ってみたら……。

NAB堺萬

営11:00AM~8:03PM(食事) 10:00AM~8:30PM(喫茶)
 火休 中京区室町通二条下ル NABRAD裏



あの二枚目刑事が——。「これが役者ってもんだぜ！」

あぶない刑事

オレたち要注意人物

あぶない刑事ハードボイルドワンダーランド

二枚目ぶっとび刑事コンビや、ひょうきん刑事が、素敵な素顔を見せてくれるノハードな撮影の「待ち」時間に、どんなコトしてるのかな? こんな疑問には一発で答えちゃう。期待してね!

出演/箱ひろし・柴田恭兵・仲村トオル・浅野温子

◎カラー45分/モノラルHi-Fi
 ¥8,800



東映株式会社

お問い合わせは

東映商事株ビデオ事業部
 ☎06(345)8395/0188(直)

2/12
 ビデオ
 新発売